

新型コロナ対策で迷走に迷走を重ねる安倍政権

アベノマスクをまだ配り続ける愚策

布製マスク、通称アベノマスクは、約1億3000万枚、総額約260億円をかけて、全戸に配布された。

私は、これでアベノマスクの配布は終わりだと思っていたが、介護施設、保育所などに向けて、別に配られていたのだ。これからも含めて約1億5700万枚が配布されるとのこと。職員、利用者一人当たりに7枚ほど配り続けるという。これから配るのは、約8000万枚だそうだ。



皆さん、アベノマスクをつけている人、見かけますか。ほとんど見かけない。アベノマスクは、呼吸しにくい、小さい、洗うと縮まるなど、不評で、皆がつけないのだ。すでに配布されているのは、自宅や事業所に眠っているという。

巷では、マスクの品薄の状態は解消されているので、マスクを供給する意義は薄れ、不要論が渦巻いている。アベノマスク配布経費の全体は、事務経費含めて約614億円もかかっている。それも特定業者への随意契約だ。持続化給付金のとくと同様に利権のにおいがプンプンする。

検査体制の拡充、医療機関などが財政支援を切望しているのも顧みず、アベノマスクを配布し続けるのは、愚かとしか言いようがない。もっと、現場に見合う税金の使い方をしろと言いたい。怒りが

沸いてくる。

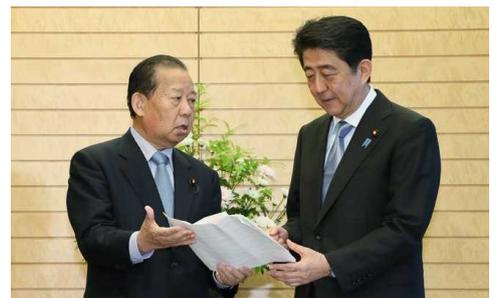
"Go To トラブル"、事業を進める場合でない

政府が、新型コロナの感染が再び拡大しているにも関わらず、予定を前倒してまで、「Go To トラベル」事業を7月22日から、強行した。割引対象となる旅行業や宿泊施設などが決まらないままの実施であった。また、延期や見直しを求める国民の不安視する声が多くあることも無視した。東京都の感染が拡大していることの批判をかわそうと、東京都民を除外した。全国に感染者を広めかねないこの事業は、「Go To トラブル」事業と言ってい。 「Go To トラベル」事業を強行するなら、旅行者にPCR検査を義務付ける対応が取れなかったのか。PCR検査を増やす考えが毛頭ないから、そういう知恵も浮かんでこなかったのではないか。

さて、東京都では、400人にも迫る感染の日も出て、夏になっても感染拡大が収まりそうにない。国も都も国民に自粛をお願いするばかりで、4月、5月に取った対応に比べて何もやろうとしていない。一方で、国民には旅行に行って、金を使ってくれという。新型コロナ対策としては、大混乱である。

政府の姿勢が緩んでいるから、国民のほうも、気が緩み、危機感が薄れているように思う。

安倍首相はというと、国会閉会后、ほとんど閉じこもりで表には出てこない、出てきて会見したと思った



「Go To トラベル」事業をゴリ押し

ら、「医療体制が切迫していないから、緊急事態宣言などの対策は今必要ない」と開き直っている。ところが、専門家は、「医療体制が切迫していないというのは間違い」と、厳しく安倍首相を批判した。こうした政府批判が出るのは、現場の声が、政府に届いていないことの表れだ。国会に出てこず、閉じこもってれば、現場の声が届かないのは当たり前だ。

さらに、国が自粛要請などの対策を取れば、また、金がかかるから、二の足を踏んでいるように思う。補正予算の予備費 10 兆円を使って、医療機関の財政支援、検査体制の強化をすぐにでも図れと強く言いたい。

PCR 検査を爆発的に増やし、感染実態の把握で感染拡大の抑制を

PCR 検査を爆発的に拡大し、感染実態を把握し、隔離者と非隔離者を分けることが今、何よりも必要なのではないかと。これができれば、経済活動と感染抑制が両方できるのだ。なぜ、このことが分かっているながら、PCR 検査の拡大ができないのか。

日本では PCR 検査がほとんど進まない。政府は進めると言っているが進まない。それは、PCR 検査にブレーキをかけているところがあるからだ。厚労省が妨害しているのだ。厚労省は、ハンセン病の隔離政策を引き合いに出して、偽陽性者の人権を守らねばならないと言って、積極的に進めようとししないのだ。ハンセン病の場合は、国が強制隔離政策を行って過ちを犯した。新型コロナウイルスの場合は、強制隔離政策を取るわけではないので、根本的に違うと思うが、厚労省はそう考えないらしい。

また、PCR 検査は感度が低いからと積極的に進めない考えもあるようだ。さらに、PCR 検査が進まないのは、いつでも誰もが受けられないこと。他の国は、ほとんどが、無料でいつでも誰でも受けられるのだ。

さらに、さらに国が PCR 検査を進めないのは、金がかかるからだと思う。国民の一大事のために、税金を使わない、ケチ政権と言わざるを得ない。

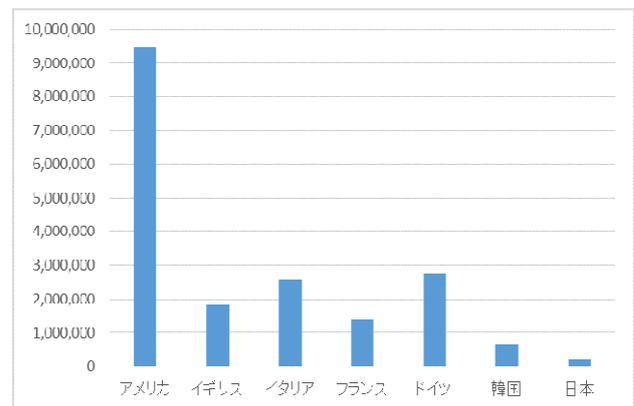
「Go To トラベル」事業に 1 兆 3000 億円も投じるなら、PCR 検査の拡大に使うべきだ。

「検査に必要なマスク等の防護資材の生産・確保、陽性者の保護・隔離のための療養施設の確保・提供、療養者の保護・支援システムなど、継続的な検査・保護のシステムを社会的に構築すること、ドライブスルーもシステム化すべきだ」と専門家はずっと言っている。1 兆円あればできるそうだ。これも補正予算の予備費 10 兆円から捻出できる。

国の無策、ピンボケ政策と対策の妨害、ケチな対応は、もう終わりすべきだ。イコール、安倍政権を変える以外にない。

秋にも、総選挙が行われる動きがあるというが、安倍首相は、閉じこもって、自分が生き残ることだけを考えているようだ。国民の命と健康を安倍政権に委ねることはまっぴら御免である。

(千代田区労協議長 小林秀治)



(表1 検査数(人数または実施検査数)2020年5月10日)

*千代田区労協通信バックナンバー / http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。